

Topic 01

教職大学院での学び、はじまっています

実習・ゼミ・院生室でつながる学び



ICT 教育実践論でプロジェクト学習に取り組む院生の様子

熊本大学教職大学院では、教育現場で活かせる実践的指導力の向上を目指し、理論と実践の往還を重視した学びを展開しています。今年度も、大学院1年生（ストレートマスター）は6月から連携協力校での実習を開始。年間160時間にわたり、授業参観や実践を通して、授業力の向上と児童生徒との関わり方を学んでいきます。

大学院2年生（現職院生・ストレートマスター）は、年間240時間の実習で自ら設定した課題に基づく実践研究を進めていきます。担当教員とのゼミでは研究課題を共有し、より良い実践と課題解決を目指しています。

今後も、大学院での学びを現場に還元し、教育実践力の高度化を図っていきます。

Topic 02

教職大学院説明会

教職大学院での学びに関心のある方を対象に説明会を開催します。教職大学院の概要や各コースの特色、学修内容等についてご紹介します。進学を検討されている方は、ぜひご参加ください。

日時：令和8年7月15日（水）
15:00～16:15

会場：熊本大学教育学部4A教室
オンラインでも同時開催

申込：QRコードよりお申し込みください。



実習

連携協力校での実践を通して、子ども理解や授業づくりを体験的に学びます。

ゼミ

理論と実践を往還し、課題を共有。研究と対話で学びを深めます。

院生室

現職教員とストレートマスターが活発に意見を交わし、学びを広げています。



院生室紹介

院生室が過ごしやすくなりました！

個人の棚が設置され、学習資料等を置くスペースができました。学習環境の工夫は、学びの質や意欲の向上につながります。学びを充実させ、深めるうえで、環境づくりは大切です。



Topic 03

令和7年度卒業生「研究報告書」を公開

熊本大学教職大学院では、学習指導や生徒指導などにかかわる自己課題を発見・分析した上で、実習校の課題解決に向けて実践研究に取り組みます。

担当教員の指導のもと、実習、講義、教育実践研究などの、実践と理論の往還を通じた学びを報告書としてまとめたものを公開しました。QRコードを読み取ってご覧ください。



Topic 04

授業紹介

現代教員論

現代社会の変化に応じた教員の在り方を、理論と実践の両面から学びます。学校現場でのフィールドワークを通して、教育活動の観察や分析を行い、実践的指導力の向上を目指します。

“講義で学んだ理論などを基に、目的と手段を検討し、観察を行いました。また、観察の結果を踏まえて分析するという、学部では経験したことがない実習を経験することができ、とても有意義な実習になりました。PI 箕川 陽向”

“様々な先行研究の参照により、質的研究の方法に関する新たな視点を見出すことができました。研究結果は、学校や児童・生徒の実態によって変わることを踏まえ、自分の実践と照合し、生かしていきたいです。PI 赤坂花音・内藤優季”

Topic 05

研究紹介

「地域とともにある学校」の実現に向けた
地域連携推進教員の役割についての考察

現在、学校現場は多様なニーズや変化する教育課題に直面しており、学校単独での対応が困難なケースが増えています。子どもたちが安心して楽しく学ぶためには、学校・地域・保護者が一体となって子どもを育てる「開かれた体制」への変化が必要です。教員が地域連携に感じる負担感や不安感を調査し、それを減少させる手立てとして、学校の校務分掌に「地域連携推進教員」を配置することを提案し研究しています。地域連携推進教員が人材・教材の開拓や連絡調整の窓口となることで、学校と地域の連携がより円滑に進むのではないかと考え、その効果を検証します。



P2 和泉 理香